



株主のみなさまへ

2017年3月期 第2四半期

2016年4月1日 → 2016年9月30日





売上高・利益ともに、 第2四半期決算での過去最高を更新しました。

代表取締役社長 CEO 竹原 教博

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期 第2四半期決算は売上高193.3億円、営業利益16.1億円、経常利益16.2億円、親会社株主に帰属する四半期純利益10.4億円となりました。特に電子書籍配信サービスが順調に推移した結果、売上高・利益ともに過去最高を更新し前年対比増収増益となりました。

このような中、株主さまへの還元としまして今期から中間配当を実施します。2017年3月期の中間配当は10円とし、期末配当15円と合計し年間配当金を25円と予想しています。また9月30日現在の株主名簿記載の1単元以上保有の株主さまを対象に株主優待を実施しました。

事業の概況についてご説明いたします。ネットビジネス・セグメントでは電子書籍配信サービスが順調に推移しています。そのような中、2014年から開始した「めっちゃコミック」テレビCMの放映によりこれまで多くの人に「めっちゃコミック」を知っていただけるようになりました。そのCMと連動したWeb広告やサイトの改善など様々な工夫により入会率が向上し、有料会員数が100万人を超え、業界トップクラスの地位を確固たるものにしました。第1、第2四半期とも四半期の最高売上を更新し、上期売上高は88億円となりました。今後はサービス開始から10年の節目となり、キャンペーンを実施する予定です。キャンペーンでは無料コミックや独占配信コミックのご提供を始め、様々な特典でお客さまにご

満足いただければ幸いです。

ヘルスケア領域では、診察報酬改定などによる医療機関でのIT投資抑制の影響を受け減収となりましたが、営業利益はコスト削減施策により前年同期並みの利益を確保しました。現在は新領域への展開として、起業家とヘルスケア業界との出会いの場を提供し新規ビジネスを創出する「デジタルヘルスコネクト」を運営するほか、地域包括ケア領域の事業化を目指し、株式会社ソラストと業務提携を行いました。現在はソラスト社の介護関連施設のIT化を予定し、介護業務の現状調査や新規サービスの試行・検証を行っています。

その他、急速にIT化が進んでいるインドネシアで起業して間もない企業を支援する「アクセラレーションプログラム」を実施し、事業化のための様々な支援を行っています。

また事業構造改革として2015年に自社保有のデータセンターでのサービス終了についてお知らせいたしましたが、この度その資産を2017年9月に譲渡することが決定しました。

以上のようにインフォコムの実績は順調に推移しております。

株主のみなさまにおかれましては今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

●2017年3月期第2四半期連結業績サマリー

売上高	193.3億円 前年同期比3.2%増	営業利益	16.1億円 前年同期比33.8%増
経常利益	16.2億円 前年同期比30.0%増	親会社株主に帰属する 四半期純利益	10.4億円 前年同期は△11.0億円

4月
|
5月

IoT

出資会社エブリセンスジャパン株式会社を含む7社共同でIoTソリューションの有効性実証実験に参画

ITサービス

株式会社サーバーワークス様とクラウド型ID管理サービス「OneLogin」の販売代理店契約を締結

GRANDIT

“GRANDIT AWARD 2015”を発表

GRANDIT

GRANDITコンソーシアムにパシフィックシステム株式会社様がビジネスパートナーとして参画

6月
|
7月

ネットビジネス

「オーガニックサイバーストア」世界のスイーツを販売開始

ネットビジネス

「めっちゃコミック」などの5月度の月間売上高が過去最高の14億円を突破

GRANDIT

グループ経営管理機能が更に進化、完全Web-ERP「GRANDIT」の新バージョンを市場投入

ITサービス

「国立公文書館デジタルアーカイブ」にかかるシステムを納入

ネットビジネス

会社にデパ地下がやってくる！アムタスグループのドゥマンが法人向け手土産ECサイト「カシクル」のサービスを開始

ヘルスケア

災害・救急自動車映像伝送システム「V-FAST」が千歳市消防本部様、洛和会音羽病院様の救急医療システムに採用

IoT

エブリセンスジャパン株式会社が、IoTプラットフォームに関する日本国内特許を取得

IoT

IoTを用いた認知症ケアソリューション、「国際モダンホスピタルショー」に参考出展

ネットビジネス

「めっちゃコミック」などの電子書籍配信サービスで第1四半期売上高が40億円を突破し、過去最高を更新！

8月
|
9月

ネットビジネス

「めっちゃコミック」の新テレビCMを放映！放映を記念して購読無料キャンペーンを実施！

ネットビジネス

「めっちゃコミック」のテレビCMでお馴染みの「めっちゃ犬」がネットキャッチャー「ネッチ」の限定景品として登場！

ネットビジネス

「めっちゃコミック」、ソーシャルログイン機能を追加

ネットビジネス

アバターコミュニティアプリ「シュシュドール」、人気キャラクター「ハローキティ」コラボアイテムの提供開始！

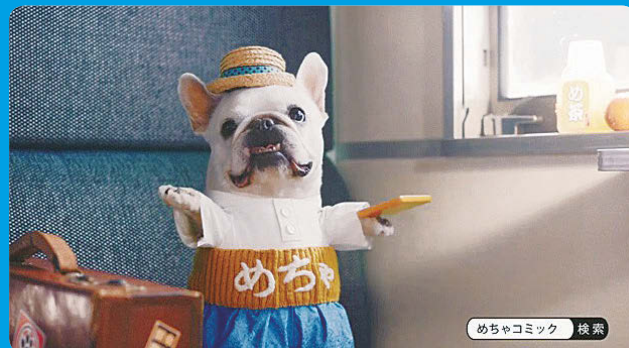
GRANDIT

「GRANDIT」の業務支援機能が、経費精算クラウドサービスや承認ワークフロー拡張機能を追加し、更に充実

TOPICS 1 電子書籍配信サービスの四半期売上高が過去最高を更新

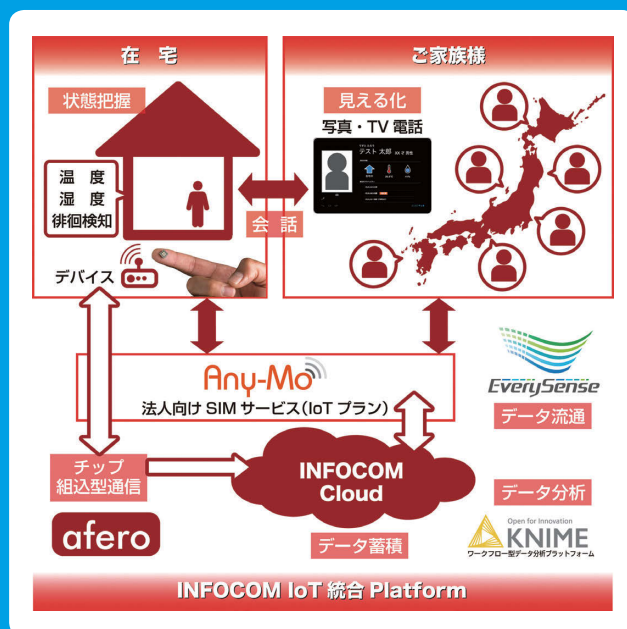
「めちゃコミック」などの電子書籍配信サービスでは、第1、第2四半期の売上高が過去最高を更新しました。また8月に「めちゃコミック」の新テレビCMが放映され、放映を記念して購読無料キャンペーンを実施しました。

現在「めちゃコミック」の有料会員数は100万人を超え、トップクラスの実績を誇っています。



TOPICS 2 IoTソリューションの様々な取り組み

4月には業務・資本提携するエブリセンスジャパン株式会社を含む7社共同で、一般社団法人インターネット協会の推進するIoTソリューションの有効性実証実験に参画し、オフィス内環境モニタリング実証実験をスタートしました。またIoTを用いた認知症ケアソリューションを展示会「国際モダンホスピタルショー」に参考出展しました。(右図)



TOPICS 3 アジアでのアクセラレーションプログラム 始動

インドネシアにおいて、スタートアップ企業を支援するアクセラレーションプログラム「GnB Accelerator」を開始しました。

このプログラムは参加チームに対して3ヶ月に渡ってマーケティング、資金調達、法制度などをレクチャーし、ビジネスプランを練り上げ、最後に投資家を集めた「DemoDay」というイベントで発表してもらうものです。

8月に開催した最初のDemoDayには、投資家やメディア関係者約250名が集まり、6チームがプレゼンテーションを行いました。

今後も、このようなスタートアップ企業の支援を継続し、事業シナジーが見込める場合には、協業やM&A等も検討していきます。

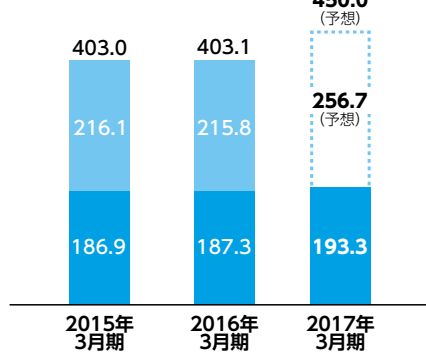


連結財務ハイライト

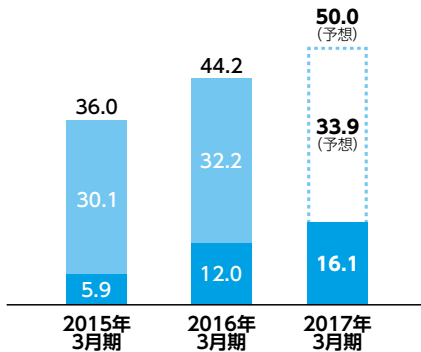
POINT

- 1 電子書籍配信サービスが牽引し、売上高・利益とも第2四半期決算での過去最高を更新
- 2 通期業績予想については、期初計画を据え置き

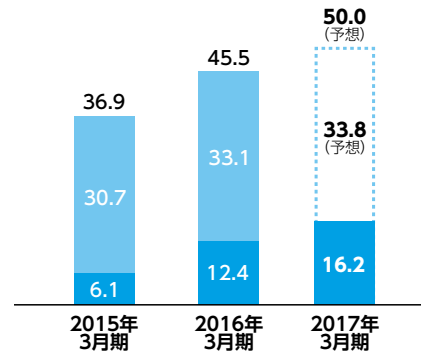
売上高 (億円)



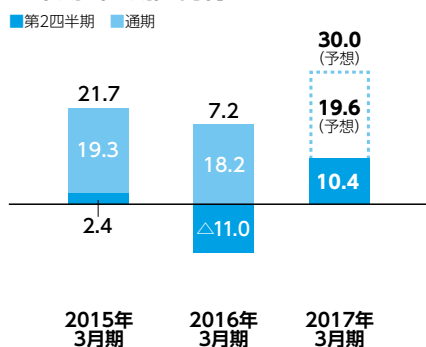
営業利益 (億円)



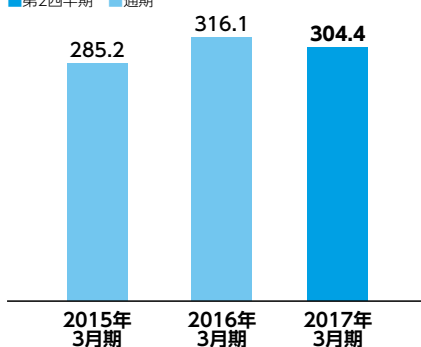
経常利益 (億円)



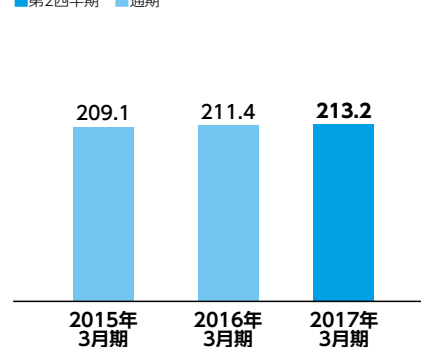
親会社株主に帰属する
四半期 (当期) 純利益 (億円)



総資産 (億円)



純資産 (億円)



※通期及び四半期業績の特性について

わが国では、事業会計年度を4月から3月までと定める企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。このため売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の概況



売上高 ● 診療報酬改定などの影響を受けヘルスケア事業は減収
● 企業向けは、SI案件などで期ズレが発生し減収

営業利益 ● 減収による影響をコスト削減施策により吸収
● 地域包括ケア及びIoT関連への先行投資は計画通り推進



売上高 ● 電子書籍配信サービスが順調に推移し、有料会員数100万人を突破
第1、第2四半期でそれぞれ最高売上を更新

営業利益 ● 電子書籍配信サービスの売上高伸長に加え、継続的なコスト削減策及びEコマースの構造改革効果も発現

詳細な財務情報につきましては、当社ホームページからご確認ください。 <http://www.infocom.co.jp/ir/index.html>

株主総会レポート

2016年6月16日（木）青山ダイヤモンドホールにて株主総会が開催されました。インフォコムでは、お仕事の帰りに参加できるよう、株主総会を夕刻から開催しています。このような取り組みの結果、今回は170名の方にご参加いただきました。総会で頂いた株主さまからのご質問と回答の一部をご紹介します。



質 疑 応 答 Q&A

Q 電子書籍は急速に成長している市場ですが、競合企業も順調に成長しており、インフォコムも平均的な成長率にとどまっていると思います。今後、淘汰が進むと予想していますが、その中で競合に負けず、勝ち抜くための対策はどのようなものでしょうか？

A 電子書籍市場、特にコミックは2016年度は前年比23%増*と予測され、市場は順調に拡大し、私たちはその中で順調に成長しており、これからもトップクラスの地位に居続けることを目指しています。当社は電子コミックの配信を古くからご提供しており、その中での出版社との強力なパートナーシップを始めとした、勝ち抜くための様々な対策を持っていますので、ご安心いただきたいと思います。

*出典：インプレス総合研究所 2016年度は㈱アマタス予測

Q 地域包括ケア分野に参入するとのことですが、現状はどのようなことに取り組んでいますか？

A 提携先の株式会社ソラストの施設にインフォコムのエンジニアを派遣し、業務内容の確認を行うなどしています。介護現場の効率化を目指してITで解決できるシステム開発を進めています。

Q 構造改革として特別損失を27億円計上されているが、その内容について教えてください。

A システムの保有から利用に変革する時代の流れに伴い、データセンターを利用したサービス提供を2017年6月末をめどに終了することになったためです。（基盤整備と減損処理を行いました。）



▲株主のみなさまとのコミュニケーションの機会として、終了後は懇親会を開催しています。多くの方がご参加くださり、様々な貴重なご意見を頂きました。

社外取締役のご紹介

一般の株主さまとの利益相反を生じる恐れのない社外取締役を選任することにより、経営の透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図っています。

津田 和彦

選任の理由

自ら大学ベンチャーの経営に携わられており、当社経営の監督など社外取締役として職務の適切な遂行と、経営システム科学分野において自然言語理解及び情報検索等を研究しており、同分野の専門家としての長年の知見の当社への提供を期待しております。



藤田 一彦

選任の理由

国内外金融機関における17年及び製造販売業における7年の実務経験、ならびに㈱タニタにおける取締役としての経験知見を活かした第三者/社外視点での経営指導や監督助言、また、豊富な海外事業経験に基づくグローバル視点での助言を適宜適切に行っていただける方であると期待しています。

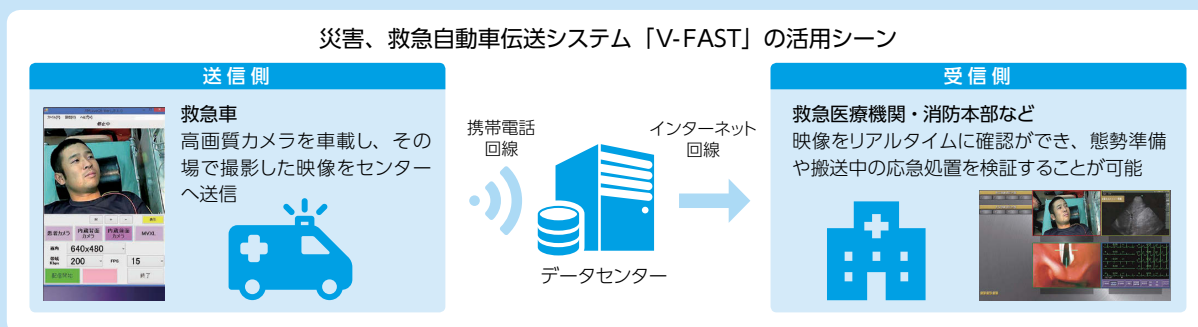


2016年4月14日に熊本県と大分県で発生した「熊本地震」、また同8月30日に岩手県に上陸した「平成28年台風第10号」で被災されたみなさまにはお見舞い申し上げます。

インフォコムでは東日本大震災の継続的な支援に加え、今年発生した両災害に対して以下の支援を行いました。

▶ 熊本地震でのご支援

災害時診療記録、映像伝送システム（V-FAST）などの無償提供で被災地支援を行い、宮城県岩沼市で生産されたお米を提供しました。



▶ 平成28年台風第10号でのご支援

いくつかの地域が断水したため、該当の地域へペットボトル水、お菓子などを配布し1件1件安否確認を行いました。被災された7割の方が高齢者世帯で、うち半分が独居老人宅のため、フェイストゥフェイスでの安否確認は、大変喜ばれました。



▶ 東日本大震災で被災された方々の生活のためのご支援

東日本大震災の影響を受けた岩手県久慈市で高齢者・独居老人・子育てシングル・共働き世帯の方々のために、買い物代行と移動販売を実施しています。高齢者の方々の買い物難民の改善や、若い世代の方々の労働環境を向上させるために、注文を頂いた商品を仕入れ、地域のみなさまにお届けします。お届けを通じて配送時の安否確認や見守り、緊急時の通報などの支援を行っています。(写真)

同じく被災地である宮城県岩沼市で2015年9月より『「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム』を開始しています。復興を願い、ツアー参加により産地直送の野菜の販売、農業/植樹体験、バーベキューなどを通じて地域の方々と交流していただき岩沼市のファンを作るイベントです。

その他、被災地域において震災に関する情報をアーカイブ（集約/公開）する事業にも取り組み、関連業務を被災地域で雇用した人材で進めています。



▲久慈市地域見守り協力企業 買い物弱者支援事業 移動スーパー「ゆいっこ」

会社概要・株式状況 (2016年9月末日)

会社概要

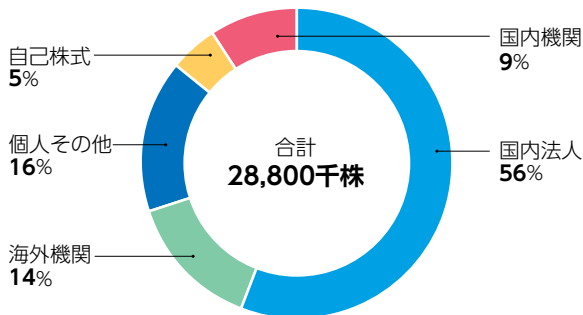
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点	東京都渋谷区、大阪府大阪市、 神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	650名 (単体) 1,088名 (連結)
グループ会社	国内8社、海外2社

役員

代表取締役社長	竹原 教博
常務取締役	里見 俊弘
取締役	大垣 喜久雄
取締役	園部 芳久
取締役*	津田 和彦
取締役*	藤田 一彦
常勤監査役	玉井 隆
常勤監査役*	池田 一志
監査役	遠藤 則明
監査役*	小倉 弘行

※印の役員は社外役員です。

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場 (銘柄コード)	東京証券取引所 JASDAQスタンダード (4348)
発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	28,800,000株
株主数	4,233名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：3月末日 期末配当金：3月末日 中間配当金：9月末日

売買単位	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL：http://www.infocom.co.jp/

大株主の状況

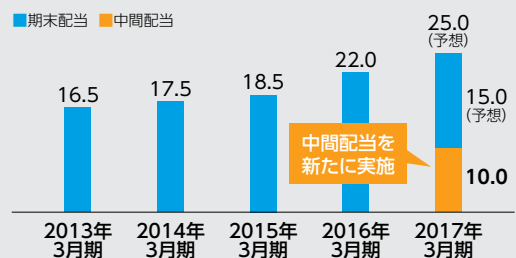
株主名	持株比率 (%)
帝人株式会社	55.13
自己株式	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.96
インフォコムグループ従業員持株会	2.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.73
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1.94
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1.78
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1.43
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1.43
KBL EPB S.A. 107704	0.93

株主還元方針

インフォコムグループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当を行う方針です。当期の配当につきましては、第2四半期に1株あたり10.0円、また期末に1株あたり15.0円として、1株あたり25.0円を予想しています。

※2013年3月期の配当金につきましては、株式分割に伴う影響を加味した遡及修正値を使用しています。

1株あたり配当金 (円)



お問い合わせ

インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL：03-6866-3000(代) FAX：03-6866-3900 E-mail：pr@infocom.co.jp

※当資料に記載された予想に関する情報は、2012年2月6日発表の中期経営計画、2016年10月31日発表の平成29年3月期第2四半期決算短信及び2017年3月期第2四半期決算説明会資料に基づくものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※当資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標又は出願中の商標です。

※当資料に掲載される情報、記事、写真等の無断複写、転載を禁止します。



この報告書は、適切に管理された森林から生まれたFSC®認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷されています。